

情報公開条例の運用状況——町長交際費の支出状況を閲覧できるようになりました

町では、保有している情報を積極的に提供することによって「町民本位の開かれたまちづくり」を進めることを目的とし、平成13年10月から情報公開条例をスタートさせています。この条例に基づく平成15年度の運用状況をお知らせします。

運用状況について

平成15年度は、町長部局で2件、議会で1件の請求がありました。請求者はいずれも町内の個人の方でした。請求は、町長交際費、議長交際費に関する公文書の開示（公開）請求でした。請求のあった公文書には一部個人情報が含まれていたため、条例、規則等の基準に基づき、一部分を非公開とする部分公開の決定を行いました。この決定に対する不服申し立てはありませんでした（表・1）。

なお、公開の請求がなくても

表 - 1 情報公開条例の運用状況

実施機関	公開請求件数	部分開示件数	不服申立件数
町長	2	2	0
議会	1	1	0
教育委員会	0	0	0
選挙管理委員会	0	0	0
公平委員会	0	0	0
監査委員	0	0	0
農業委員会	0	0	0
固定資産評価審査委員会	0	0	0

担当課段階で可能なものは、できるだけ公開（情報提供）するよう努めており、それらの数は含まれていません。

情報公開制度とは？

町民の「知る権利」を保障し、町の諸活動についての「説明する責任」を定めたものです。

町民には、「公文書の公開を請求する権利」も保障されています。個人のプライバシーに関するものが含まれている場合等を除き公開することが原則となっています。

情報公開の対象機関

対象機関は、町長部局の他、町議会、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会の8機関です。

町長交際費を公表

平成15年度の町長部局に関する情報公開請求は、いずれも町長交際費に関する件でした。

町では、平成16年度から町長交際費の支出に関する情報について、情報公開請求によらなくとも企画総務課総務係において閲覧による方法で公表することとしました。公表する内容は、個人のプライバシーに配慮し、当該月の前月分までの支出年月日、支出金額、支出事由としています（表・2、支出月日等は閲覧願います）。

今後の取り組み

まちづくりには、町と町民との情報共有が大切であり、そのためには積極的な情報発信が求められます。広報誌や町のホームページなどから町の重要施策や予算決算状況、財政の状況など広く情報を発信していきます。情報公開にあたっては、個人情報保護にも配慮していきます。

表 - 2 町長交際費の支出状況

支出事由	4月		5月		6月	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
香典	6	40,000	7	35,000	7	40,000
供花料	4	20,000	5	25,000	5	25,000
生花代	4	45,360	2	22,680		0
花束代	1	5,000	0	0		0
供花紙代	0	0	1	10,000		0
その他	0	0	0	0	1	25,000

お問合せは、役場企画総務課総務係（内線211）まで

受けていますか？乳がん・子宮がん検診——女性の30人に1人は乳がんにかかります



産の経験の少ない人や、未

婚の人のほうが女性ホルモンの影響を受ける期間が長く、乳がんにかかる

危険度も高くなります。また、早く初潮をむかえた人や、閉経が遅かった人も同様に、乳がんの危険度は高くなります。

女性がかかる病気の中で、近年は、

乳がんと子宮体部がんが増加傾向にあります。乳がんも子宮がんも、早期に発見して治療をすれば治るガンです。どちらも自覚症状が少ないため、普段からご自分の健康状態を意識してチェックしていくことで、ちょっとした変化でも見逃さずに気づくことが出来ます。

国の統計では、女性の30人に1人が乳がんにかつていると報告があります。乳がんは、卵巣から分泌される女性ホルモンと関係が深く、女性ホルモンの影響を長く受ける人ほど、乳がんにかかりやすいといわれています。この女性ホルモンは、初潮がはじまってから閉経をむかえるまで、盛んに分泌されます。妊娠すると分泌が一部低下しますので、妊娠、出

肥満も原因の一つにあげられます。乳がんのがん細胞には、女性ホルモンの受け取ると増殖しやすい性質があります。女性ホルモンは、卵巣から主に分泌されますが、脂肪細胞からも少量ですが分泌されます。閉経後は、特に、卵巣の働きが衰退しますので、脂肪細胞から女性ホルモンを分泌するようになります。脂肪細胞を多くもっている人は、必要以上に分泌されることとなりますので、50歳以上の肥満の女性は、特に乳がんにかかりやすいと言えます。

乳がんの症状は？

初期の乳がんの症状はしこりです。このしこりの大部分は、痛みをとまなません。固く根をはった感じで触ると表面がでこぼこしています。しこりの大きさとがんの進行は比

例してしますので、しこりに気づいたらすぐに検査を受ける必要があります。がんが進行すると、皮膚や乳頭にも変化が現われてきます。腕を上げたときに、乳房の皮膚のひきつれ（えくぼ症状）やくぼみができたり、乳首がひっこんだり、乳首から分泌物が出ることもあります。

早期発見の決めては自己検診

早期発見のために一番大切なのは、自己検診です。自己検診は、毎月1回、定期的に行います。乳房と反対側の手の指で、指の腹を使って、くまなく念入りに触ります。乳頭からの分泌物の有無も確認しましょう。

また、定期的に検診を受けることも必要です。乳がん検診には、医師の視触診と乳房のエックス線検査（マンモグラフィ）、超音波検査（エコー）があります。以前は、医師の視触診だけで判断していましたが、最近の研究から、早期発見には、マンモグラフィによる診断が必要とされています。乳がんを見逃さないためには、医師の視触診とマンモグラフィを合わせて受けるようにしましょう。

平成16年4月に、厚生労働省より、

子宮がん、乳がん検診の有効な受診間隔について新たな方針が出されました。40歳以上の女性で自己検診を毎月行っている人のうち、医師の視触診とマンモグラフィ検査の両方も異常なかった場合は、2年に1回の検診でよいという考え方に変更されました。自己検診を毎月行っていることが原則の考え方ですので、ご自分で異常に気づいたら、すぐに医療機関で受診して下さい。乳がんは、乳腺外科の専門医に見てもらった必要がありますので、医療機関で検診又は検査を受ける時は、乳がんの治療を行っている病院の外来を受診しましょう。次回は、子宮ガンについてお話しします。

7月20日（火）と2月16日（水）

に乳がん・子宮がん検診を保健福祉センターで実施します。お問合せは、役場保健福祉課（6・5111）まで

浦幌高校日記——地元、浦校の様子をお届けします

女子バスケット部誕生

3年生の工藤みなみさんと高橋萌さんが、入学時より思い続けてきたバスケットボール部。部員が集まらず、1年待ち、2年待ち、今年、ようやく同好会を発足することができました。最初はユニホームもボールもない状態でしたが、毎日の練習を重ねてきました。その実績が認められ、公式戦への参加ができる部への昇格が生徒総会で承認されました。

練習メニューを考え、有効かどうかを確かめ、積み重ねてゆくという手探りの活動でしたが、高体連を目標に、他校との合同練習などを通して部を創ってきました。また、練習相手として男子バスケットボール部だけでなく、多くの生徒が関わってくれました。

3年生にとって、最初で最後の高体連は池田高校との対戦となりました。初めての公式戦からか前半は思うように動けませんでした。作戦を練り体制を立て直し、点差がついてもあきらめず、最後の4ピリオドでは池田高校の得点を上回ることができました。

勝利することはできませんでしたが、終了の笛がなるまで、自分たちができることをやり続けるチームとすることができました。学校に帰ってきた選手諸君のさわやかな表情が、その達成感を物語っていました。

現在は、1年生の高山キャプテン、高橋副キャプテンが練習目標やメニューを考え、新しいチーム作りを励んでいます。

3年生企業見学終了

6月16日、3年生30名は企業見学に行ってきました。目で見て、触れ質問をするだけでなく、自分たちが見たい企業を決め、アポイントを取り、成果を発表する。進路意識を高め、社会人としてのマナーや社会が必要となる力を身に付けることを目的としています。

全員でいった音更の柳月スイートピアガーデンでは、お菓子の製造過程を見学、企業名の由来やお菓子の製造について沢山のことを教えて頂き、最後はお菓子もいただきました。その後、それぞれの希望によって、ペットショップ（ピクワン）、自動

車店（スズキ）、百貨店（藤丸）、歯科医院（酒井歯科）、十勝毎日新聞社、NHK、北海点字図書館、ピクニツク（カフェ・パール）、キリヤ和楽器店の9か所を訪問。普段見ることのできない企業の内部や仕事の内容の説明をいただき、理解を深めることができました。これからも働くことの喜びや大切さを学び、進路活動に役立てていきたいと思えます。

伝統の23km強歩

6月11日、好天に恵まれ強歩大会が行われました。浦幌神社横の心臓破りの坂を越え、静内会館、統太を通過し学校に戻るタイムリミット4時間のハーフマラソン。学年の代表が、交通安全を呼びかけるタスキを掛け、交通安全キャンペーンも兼ねています。

決して楽ではありませんが、父母の方々が設置して下さる給水所やゴール後には、お母さんたち手作りのうどんが待っています。温かい心遣いが大きな励みになりました。個人、クラス別対抗とも3年生が賞禄を見せ、部活ではサッカー部が圧倒的な強さを発揮しました。

野球部の夏、そして秋へ

夏の甲子園への地区予選。試合が終わった直後、朝日新聞の記者から電話がありました。その中で、「うちのチームの戦いぶりはどうでしたか」と尋ねると「点差は開きましたが、最後まで澁刺とっていましたよ」との回答。試合の結果は残念でしたが、とてもうれしい言葉でした。

富田監督も「力の差はあったが、展開しだいで競ることもできるくらいチームの実力はあがった。春以来選手たちは毎日朝練や真つ暗になるまで意欲的に練習に励んだ。リードされてからの1点は、理想的な形で得点。最後まで声を出し、ひたむきだった。特に最後の公式試合となった3年生には心から感謝したい。」と述べています。

学校行事で、教職員、生徒が応援できませんでしたが、「最後まで声を掛け合い、懸命のプレーを披露」（勝毎記事より）。敗戦の後、引退した3年生のためにも「勝りたい」と涙を流しながら語った2年生エースの神谷君。まずは7人からのスタートですが頑張ります。（森教頭）

浦幌町家畜共進会——自慢の乳牛など家畜の体型を競い合おう

5月31日、浦幌町家畜共進会（家畜共進会協議会主催）が開かれ、牛や馬など約60頭が出陳されました。

体型や発育の程度などが競われ、審査の結果、乳牛の部、未経産牛の最高位にグローリアス・ダーハム・セルティック（有ランドハート所有）、経産牛の最高位にサンフラワー・ルーテル・エーカーズ（泉元一さん所有）、肉牛の部、最高位にひらもり（森啓之介さん所有）、馬の部、最高位に鈴蘭（廣川利明さん所有）、牧場賞に（有）ランドハートが選ばれました。

各部門の1席は次のとおり（敬称略）。

乳牛の部（未経産牛）

6・8か月未満〓サンフラワー・クレック・ジェスロ・トニー（泉元一）
8・10か月未満〓メープル・リン・リンディーポラーマン・テナ（郷篤夫）
10・13か月未満〓ミンセント・ストロベリー・ブコ・マーリン（佐々木美穂子）
13・17か月未満〓フェムコ・チャールズ・ウインド（小泉義昭）
17・21か月未満〓フェムコ・コン・フューリー（小泉義昭）
21・27か月未満〓グ

ローリアス・ダーハム・セルティック（有）ランドハート）

乳牛の部（経産牛）

36か月未満〓グローリアス・リー・リードマン（有）ランドハート）、
36・48か月未満〓サンフラワー・ルーテル・エーカーズ（泉元一）
48月以上未満〓ミンセント・ミックス・ピア（佐々木美穂子）

肉牛の部

未経産牛6・12か月未満〓ひらもり（森啓之介）
未経産牛12・26か月未満〓やえいと（中川信一）
経

産牛〓まなみ（松田辰男）

馬の部

雄1才
〓光鉄（神谷信雄）
雌1才
〓宝栄（佐藤昭）
雌2才
〓桜（北野功）

乳牛の部未経産牛の最高位、（有）ランドハート所有のグローリアス・ダーハム・セルティック（左）と準最高位、佐々木美穂子さん所有のミンセント・ストロベリー・ブコ・マーリン（右）



浦幌町開町記念式典——27名を表彰

6月5日、浦幌町開町記念式典が中央公民館で行われ、町の発展に功績のあった27名の方を表彰しました。受賞者は次のとおりです（敬称略）。

自治功労者

飯山祐敏、古川利雄

開拓功労者

久司ふじい、小林善松、畠山力松、古川正人、久保國太郎、緑川實、富田誠作、西尾文雄、水野フジ、山本ミサヲ、大関タマヲ、川岸フミエ、藤川只夫、部田アキ、金武清一、斉

藤藤江、山田稔、斉藤アイコ、三宅政子、斉藤キエ、安盛集蔵、今村さく系、稲垣信幸、福田俊雄、下坂マツエ



八木町長から記念の盾を手渡される開拓功労者の皆さん

ごみ焼却設備を無料で回収します

ごみの焼却による苦情が数多く寄せられています。ダイオキシンが発生することや、煙の悪臭などが洗濯物についたりするためです。

広報誌5月号でお知らせしましたが、ドラム缶やコンクリート管、ブロックを積んだりした焼却や平成14年12月以前に販売されたほとんどの焼却炉は、基準を満たしておらず、違反した場合には、罰せられることがあります。

このため、町では住みやすいまち

づくりを目指し、焼却設備の撤去、処分を無料で実施します。希望する方は電話で申し込みください。

申込先 一般廃棄物処理センター

（6・3998）

お問合せは、役場住民課生活環境

係（内線112）まで